

現代美術イベント

# HOSOMI TO CONTEMPORARY 004

## - too contemporary art lab -

細見美術館の現代美術イベントが再登場します。今回のテーマは「too contemporary art lab」。サンクンガーデンや通路など美術館オープンスペースの様々な場所に、作品が展開します。細見美術館ならではの空間で、現代アートの世界にふれてみませんか。

**I 期** 7月9日(土)～8月16日(火)

井上結理 平田さち

**II 期** 8月20日(土)～9月25日(日)

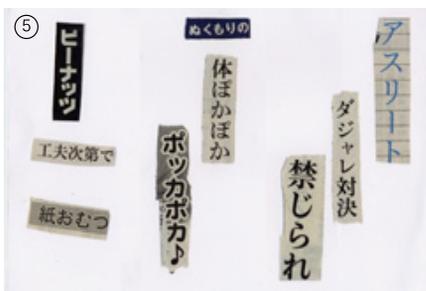
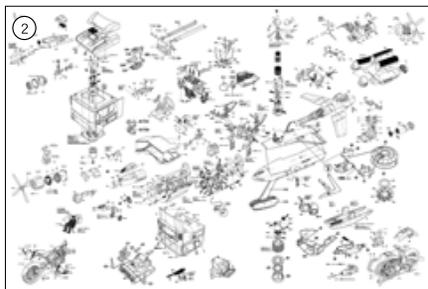
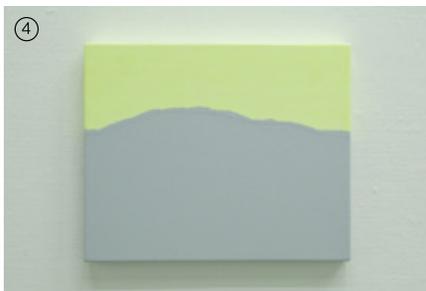
石川亮 柴田英昭(淀川テクニック) 中山和也 パラモデル

★パラモデルの作品は、II期展示に変更となりました。ご了承ください。

細見美術館オープンスペース

入場無料

午前10時～午後6時



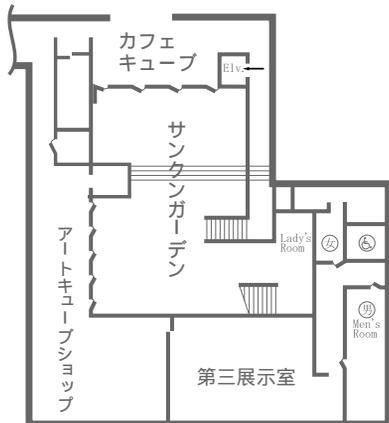
- ① 井上結理「ぬげから」2010年
- ② パラモデル「パラレルプラン#003」2010年
- ③ 平田さち「燦々」2011年 photo by 加藤健
- ④ 石川亮「仰ぐ(近江の霊山)」シリーズより 2010年
- ⑤ 柴田英昭「コラージュ川柳」2011年
- ⑥ 中山和也「多少浮いているどらやき」2011年

# この夏、細見美術館が芸術大学のキャンパスになります。

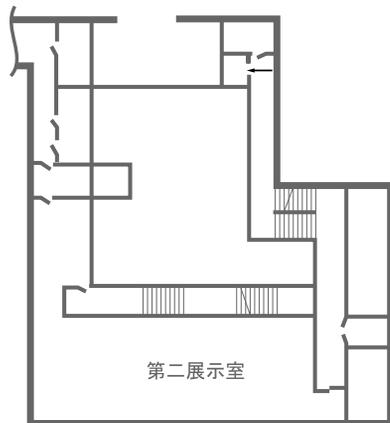
会期中、美術館全体が、頭や身体でアートと親しむ「アートキャンパス」に変身します。屋内（展示室=教室）では日本の古美術、屋外（フリースペース=キャンパス）では現代アーティストによる作品を展示しながら、授業となるアートゼミ（展示解説・ワークショップイベントなどの作家との交流）を繰り広げます。そして、併設のショップ(=生協)やカフェ(=学食)までもが、アートの世界を愉しみ、深める「アートキャンパス」の一部となります。そのなかで、来館者(=学生)は、アートの世界に楽しくふれ、学ぶのです。歴史ある古美術から現代の生活までも巻き込んで「アート」ととらえる細見美術館ならではの試み、それが「HOSOMI TO CONTEMPORARY」です。

今回のテーマは「too contemporary art lab」。展示作品は、新進気鋭のアーティストによるものです。いずれもが細見美術館の活動に賛同する「キャンパスメンバーシップ」加盟校の出身者あるいは教員です。現代の生活とアートを結びつけるアーティストそれぞれの作品世界にふれてみてください。

地下2階



地下1階

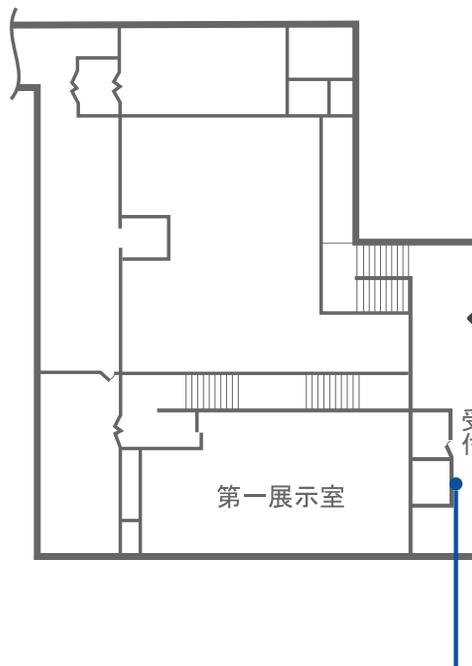


# 期

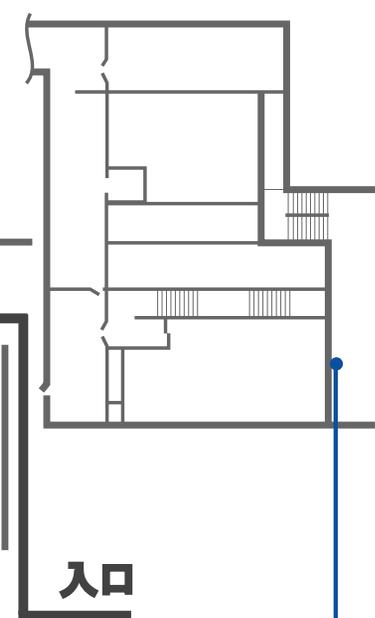
7月9日(土) ~ 8月16日(火)

常設展示  
**Okada Ichiro**  
岡田 一郎  
横断する眺望  
二階通路  
HOSOMI TO CONTEMPORARY 000 -READYSTARTED- 展示作品

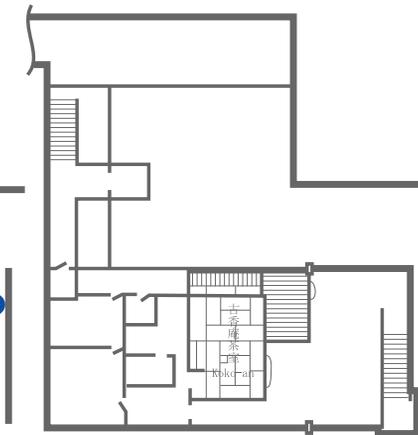
1階



2階



3階



## yuri inoue

井上 結理

井上家のリビング 2011年7月

1階受付横通路の壁面

素材：井上家の壁、井上家の音

## sachi hirata

平田 さち

プレゼントならたくさんの色を使おう！プレゼントならサプライズで！  
そしてでっかいほうが気持ちいい！！君へ届け。

2階通路の壁面

素材：カッティングシート